

推薦又は 応募の別	区分	推薦を受ける者又は応募する者								推薦をする者（個人）				推薦をする者（法人又は団体）				推薦又は応募の理由	
		氏名	職業	年齢	性別	経歴	漁業種類 (従事年数)	漁業者又は漁業従事者 であるか否かの別	氏名	職業	年齢	性別	名称	代表者	目的	構成要件	構成員 の数		
推薦	中立	大浦清和	弁護士	48	男性	平成18年10月～平成22年3月 平成22年4月～ 平成26年7月～令和2年6月 平成27年8月～ 令和2年12月～	浦崎法律事務所勤務 大浦法律事務所（設立） 富山県精神医療審査会委員 富山県漁業調整委員会委員 富山県収用委員会委員	なし	否					富山県漁業協同組合連合会	代表理事 会長 道井秀樹	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	富山県漁業協同組合連合会定款第8条で規定する会員の資格による。	13	被推薦者は、富山県精神医療審査会の委員を長年務められるとともに、富山県収用委員会の委員も務められるなど、富山県の行政に係る活動に携わってこられる。また、富山県漁業調整委員会の委員を3期務められ、富山県の漁業についての理解もお持ちであり、海面の利用について、公平、公正な立場から、ご意見を述べていただいていると認められることから、中立委員として相応しいと考える。
推薦	中立	古埜雅浩	病院職員	60	男性	昭和61年4月～令和6年3月 平成24年4月～平成26年3月 令和3年4月～令和6年3月 令和6年4月～	富山県職員 水産漁港課長 人事委員会事務局長 富山赤十字病院事務部長	なし	否					富山県漁業協同組合連合会	代表理事 会長 道井秀樹	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	富山県漁業協同組合連合会定款第8条で規定する会員の資格による。	13	被推薦者は、富山県に奉職され、水産漁港課を含め行政の多分野に長年携わってこられた。現在は、日本赤十字社富山赤十字病院の事務部長として、地域医療の中核をなす病院の運営に尽力されている。県の水産行政、漁業に対する理解をお持ちであり、海面漁業について、公平・公正な立場から、ご意見を述べていただけるものと認められることから、中立委員として相応しいと考える。
推薦	学識	坂田博美	大学教員	54	女性	平成11年4月～平成16年3月 平成16年4月～平成18年3月 平成18年4月～平成23年3月 平成23年10月～ 平成22年2月～令和3年2月 平成24年8月～	東京都立短期大学経営情報学科専任講師 富山大学経済学部講師 富山大学経済学部助教授 富山大学経済学部教授 富山県消費者苦情処理委員会委員 富山県漁業調整委員会委員	なし	否					富山県漁業協同組合連合会	代表理事 会長 道井秀樹	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	富山県漁業協同組合連合会定款第8条で規定する会員の資格による。	13	被推薦者は、富山大学等の教員として、消費者行動や食品流通に係る研究・教育にも従事され、小売マーケティングに関する高い見識を有し、食育にも積極的に取り組まれている。また、富山県消費者苦情処理委員会の委員を長年務められたご経験をお持ちであるとともに、富山県漁業調整委員会の委員を3期務められ、富山県の行政についての理解もお持ちであり、専門的立場からのご助言をいただけると認められることから、学識委員として相応しいと考える。
推薦	学識	佐藤建明	団体職員	70	男性	昭和52年4月～平成26年3月 平成22年4月～平成26年3月 平成26年4月～令和4年3月 令和4年4月～	富山県職員 富山県水産研究所長 公益社団法人富山県農林水産公社水産部長 富山県内水面漁業協同組合連合会事務局長	なし	否					富山県漁業協同組合連合会	代表理事 会長 道井秀樹	会員が協同して経済活動を行い、所属員の漁業の生産能率の向上等その事業の振興を図り、もって所属員の経済的社会的地位を高めること。	富山県漁業協同組合連合会定款第8条で規定する会員の資格による。	13	被推薦者は、水産職として富山県に奉職され、長年、水産行政に携わってこられた。また、富山県水産研究所長及び富山県農林水産公社水産部長を歴任され、漁業の実態、水産資源、漁業調整等々、富山県の水産業に関する多角的な見識を有しておられる。また、現在、富山県海面利用協議会の会長として、専門的な立場からご助言をいただくと認められることから、学識委員として相応しいと考える。
推薦	学識	大野久芳	団体役員	75	男性	平成3年2月～平成11年2月 平成11年4月～平成30年1月 平成30年4月～令和4年4月 令和4年6月～	黒部市議会議員 富山県議会議員 黒部市長 くろべ漁業協同組合代表理事組合長	なし	否					くろべ漁業協同組合	代表理事 会長 大野久芳	組合員が協同して経済活動を行い、漁業生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めること。	くろべ漁業協同組合定款第8条で規定する会員の資格による。	13	幅広い知識、経験を有し、漁業振興に対する熱意が高い。また、温厚篤実にして、中立的な見地から優れた判断力を有する。
推薦	漁業者	中村好成	漁業	62	男性	平成16年3月～平成22年3月 平成22年3月～令和4年3月 令和4年3月～ 令和4年3月～ 令和3年4月～ 平成30年7月～	魚津漁協監事 魚津漁協理事 漁協副組合長理事 魚津水産㈱代表取締役 富山県漁業調整委員会委員 富山県定置漁業協会副会長	定置網漁業 (41)	漁業者又は漁業従事者					魚津漁業協同組合	代表理事 組合長 濱住博之	組合員が協同して経済活動を行い、漁業生産能率を上げ、もって組合員の社会的地位を高めること	魚津漁業協同組合定款第8条で規定する組合員の資格による。	1,380	県立水産高校専攻科を卒業後、家業であった定置漁業に41年間従事、管内の漁業には精通している。その間、勤め先の役員や漁協の役員を経て、現在は魚津水産㈱の代表取締役、漁協では副組合長理事を務め、平成3年4月からは、推薦により富山県漁業調整委員に就任しており、現在に至っている。青年時代は、漁協青年部の部長を務め、地元漁業者だけでなく、他地区の漁業者からも人望が厚く、慕われている存在である。引き続き委員としての期待も大きく、組合としての推薦理由としたい。

推薦	漁業者	田中智宏	漁業	52	男性	平成28年3月～令和4年3月 令和4年3月～	魚津漁協監事 魚津漁協理事	いかつり・刺網 (22)	漁業者又は漁業 従事者					魚津漁業 協同組合	代表理事 組合長 濱住博之	組合員が協同して経済 活動を行い、漁業生産 能率を上げ、もって組 合員の社会的地位を高 めること	魚津漁業協同 組合定款第8 条で規定する 組合員の資格 による。	1,380	県立魚津工業高校を卒業後、陸上勤務を経て家業であった いかつり漁業、刺網漁業に22年間従事、管内の漁業や県外出漁が 中心のいかつり漁業を通じて他地区も含め漁業には精通してい る。 平成29年に経営改革として経営を法人化、好栄丸水産(株)を設 立し、代表取締役役に就任した。その間、漁協の監事、理事職を 経験、現在に至っている。県外出漁が多いにも関わらず漁協理 事会出席率は高く、漁業経営には関心が高い。現在、若くして 後継者にも恵まれ漁業経営に専念していることから、これから の漁業を考える上では適任と考え、推薦に至った。
推薦	漁業者	網谷繁彦	漁業	68	男性	平成24年6月～平成30年6月 平成28年6月～令和元年6月 平成28年8月～	とやま市漁協代表理事組合長 富山県漁連代表理事副会長 富山海区漁業調整委員会委員	小型底び き網漁業 (48)	漁業者又は漁業 従事者					とやま市 漁業協同 組合	代表理事 組合長 道井秀樹	組合員が共同して経済 活動を行い、漁業生産 能率を上げ、もって組 合員の社会的地位を高 めること。	とやま市漁業 協同組合定款 第8条で規定 する組合員の 資格による。	172	被推薦者は、長年底曳網漁業を営む傍ら、シロエビのブラン ド化を図るため漁業者が開催するイベントや県外での販促活動 において中心的な役割を果たしてきた。また、当組合の役職 (代表理事組合長)のほか海区漁業調整委員会委員、富山県の 漁業団体(県漁連副会長、富山県漁業共済組合長等)の役職も 歴任しており、当漁協の関係地区を含め富山県全体の漁業に関 する見識を備えており、海区漁業調整委員会の委員として相応 しいと考えるため。
推薦	漁業者	塩谷俊之	漁業	67	男性	昭和55年4月～平成5年4月 平成5年5月～ 平成22年6月～令和元年 令和元年6月～令和4年6月 令和4年6月～ 平成9年7月～令和3年1月 令和3年1月～	新湊新徳定置漁業生産組合 新徳漁業有限会社 新湊漁業協同組合理事・監事・代表監事 同理事副組合長 同代表理事組合長 富山県定置協会理事・副会長 同会長	定置網漁 業 (44)	漁業者又は漁業 従事者					新湊漁業 協同組合	代表理事 組合長 塩谷俊之	組合員が共同して経済 活動を行い、漁業生産 能率を上げ、もって組 合員の社会的地位を高 めること。	新湊漁業協同 組合定款第8 条で規定する 組合員の資格 による。	338	塩谷俊之氏は、大学卒業後直ちに家業である漁業に従事さ れ、今日まで44年にわたり、定置網漁業の経営を担っていま す。 この間、新湊漁業協同組合の役員として14年、富山県定置漁 業協会の役員として27年間経験され、現在は、それぞれの組織 で組合長、会長の要職を担っています。 また、富山大学との共同研究をとおり、多くの研究成果が あり、知見も豊富であります。 人物面については、温厚で真面目な性格であり、他の組合員 の意見にも広く耳を傾け、虚心坦懐に事にあたるとともに、責 任感が強く、与えられた職責を全うするために精力的な活動を 展開することから、他の組合員からの信頼も厚い方でありま す。 以上述べた理由から、塩谷俊之氏を富山海区漁業調整委員会 の委員に推薦します。
推薦	漁業者	鷺北英司	漁業	63	男性	昭和61年4月～ 平成22年6月～平成29年6月 平成29年6月～令和4年6月 令和4年6月～ 平成21年8月～ 平成16年3月～	鷺北漁業部 新湊漁業協同組合定置網実行組合長 同理事・監事 同副組合長 富山県定置協会監事・理事 富山県はたるいか協会理事・会長	定置網漁 業 (38)	漁業者又は漁業 従事者					新湊漁業 協同組合	代表理事 組合長 塩谷俊之	組合員が共同して経済 活動を行い、漁業生産 能率を上げ、もって組 合員の社会的地位を高 めること。	新湊漁業協同 組合定款第8 条で規定する 組合員の資格 による。	338	鷺北英司氏は、大学卒業後に大手水産業へ就職し、水産業の 経験を蓄積され、その後家業である漁業に従事されており、今 日まで38年にわたり、定置網漁業の運営を担っています。 この間、新湊漁業協同組合の役員として14年、富山県ホタル イカ協会会長や富山県定置漁業協会の役員として20年間経験さ れ、現在は、それぞれの組織で要職を担っています。 また、富山県水産研究所との共同研究を通して、多くの研究 成果があり、知見も豊富であります。 人物面については、真面目な性格で研究熱心であり、他の組 合員とも交流を深め、虚心坦懐に事にあたるとともに、責任感 が強く、与えられた職責を全うするために積極的な活動を展開 することから、他の組合員からの信頼も厚い方であります。 以上述べた理由から、鷺北英司氏を富山海区漁業調整委員会 の委員に推薦します。
推薦	漁業者	村上憲	漁業	51	男性	平成27年3月～ 平成30年10月～ 令和6年11月～	滑川漁協理事 滑川秋網定置漁業組合組合長 滑川春網定置漁業組合組合長	定置網漁 業 (22)	漁業者又は漁業 従事者					滑川漁業 協同組合	代表理事 組合長 池田文也	組合員が協同して経済 活動を行い、漁業の生 産能率を上げ、もって 組合員の経済的社会的 地位を高めること。	滑川漁業協同 組合定款第8 条で規定する 組合員の資格 による。	187	漁協の理事として、組合の事業に貢献し、又、水産に関する 経営及び技術の向上、資源管理等に日々努めている。
推薦	漁業者	三國嘉彦	漁業	78	男性	平成19年10月～平成25年10月 平成25年6月～ 平成25年10月～ 平成28年8月～	氷見漁民合同組合役員 氷見漁業協同組合理事 氷見漁民合同組合組合長 富山海区漁業調整委員会委員	定置網漁 業 (18)	漁業者又は漁業 従事者					氷見漁業 協同組合	代表理事 組合長 森本太郎	組合員が共同して経済 活動を行い、漁業生産 能率を上げ、もって組 合員の社会的地位を高 めること。	氷見漁業協同 組合定款第8 条で規定する 組合員の資格 による。	1486	平成19年より、氷見漁民合同組合の役員となり、平成25年か らは組合長を務めている。 平成25年より、氷見漁業協同組合の理事となり、また、平成 28年から富山海区漁業調整委員を務めている。

推薦	漁業者	園尚人	漁業	45	男性	平成18年4月～平成25年3月 平成25年4月～	鎌岩漁業部入社 鎌岩漁業部船頭	定置網漁業 (18)	漁業者又は漁業 従事者					氷見漁業 協同組合	代表理事 組合長 森本太郎	組合員が共同して経済 活動を行い、漁業生産 能率を上げ、もって組 合員の社会的地位を高 めること。	氷見漁業協同 組合定款第8 条で規定する 組合員の資格 による。	1486	小型定置網漁業を営む鎌岩漁業部を平成18年に入社し平成25年より船頭を務め漁業に携わり、地域漁業に大きく貢献している。
推薦	漁業者	松井誠二	漁業	74	男性	平成20年5月～ 平成26年4月～令和4年3月 令和4年4月～ 令和4年6月～	灘浦定置漁業組合役員 北陸日本海油送株式会社社長 北陸日本海油送株式会社会長 氷見漁業協同組合理事	定置網漁業 (16)	漁業者又は漁業 従事者					氷見漁業 協同組合	代表理事 組合長 森本太郎	組合員が共同して経済 活動を行い、漁業生産 能率を上げ、もって組 合員の社会的地位を高 めること。	氷見漁業協同 組合定款第8 条で規定する 組合員の資格 による。	1486	平成20年より、大型定置網漁業を営む灘浦定置漁業組合の役員となり、令和4年より、氷見漁業協同組合の理事を務めている。 現在、北陸日本海油送株式会社の会長でもある。
推薦	漁業者	大西眞彦	漁業	74	男性	昭和44年5月～平成28年4月 令和4年6月～ 令和6年9月～	灘浦定置漁業組合 氷見漁業協同組合監事 株式会社女良漁業	定置網漁業 (55)	漁業者又は漁業 従事者					氷見漁業 協同組合	代表理事 組合長 森本太郎	組合員が共同して経済 活動を行い、漁業生産 能率を上げ、もって組 合員の社会的地位を高 めること。	氷見漁業協同 組合定款第8 条で規定する 組合員の資格 による。	1486	昭和44年から灘浦定置漁業組合に入社し、平成28年に退職するまで46年に渡り漁業に従事した。 令和4年から氷見漁業協同組合の監事を努めている。 現在は、大型定置網漁業を営む株式会社女良漁業で漁業に従事している。